

有縁の皆さんでお読み下さい

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

お念仏申す時、いつでもどこでも、ここが私の居場所になる

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

しょう しき しょう こう

青色青光

No.320



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

法話

勤行

2月15日(水)

10:00~12:00

13:30~15:30

お昼のお弁当は、当日に注文承ります。

涅槃会 嚴修

釈尊が完全なる悟りに至られた日

「ブツダ最後の旅」



YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント 純正寺公式ホームページ



上記の QR コードを、スマホの QR コードリーダーで読み込んでください。

2月25日(土)

10:00~12:00 13:30~15:30

こんき常例布施

法話：長浜市常德寺 井と了師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

# 住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

## お念仏申せる有り難さを知る

### お念仏の家族

一昨年末から昨年の年明けは、七十年ぶりの大雪になりました。その結果、大晦日の除夜会と元日の元旦会は、私が純正寺の住職に就任して三十年で初めて、ご門徒が誰もお参りになれない中でお勤めをしました。とても寂しい年越しでした。

一年後、昨年末から今年への年越しは、雪は全く降らず雪どけ(雪かき)の必要もありませんでした。しかし、雪がないからといってご門徒が必ずお参りに来られるわけではありません。特に除夜会は、純正寺に鐘楼(鐘つき堂)がない

こともあり、いわゆる「除夜の鐘」をつくイベントもないので、これまでからもお参りのご門徒はほとんどありませんでした。ですから、一応「ご参拝の方には温かい「かぶら汁」をお振る舞いします」とご案内はしたものの、「そのまま残って、お正月の私のお雑煮になるのかな」と諦めモードでした。

ところが、午後六時に除夜会を始める時点で十名ものご門徒がお参りになっていました。驚きと共に、一年の最後の日に今年一番のプレゼントをいただいたような気持ちになりました。私が調理した素人かぶら汁

が、この時ばかりは何とも絶品のご馳走に感じました。

一夜明けて元日。午前十時からの元旦会にも、十五名ほどのご門徒がお参りくださいました。三世代のご家族みなさんでお参りくださったご門徒もあり、お勤めの正信偈和讃の声にもつい力が入ります。未だ収まらないコロナ禍の中、本堂にお参りすることにまだまだ不安を抱えておられる方が少なくない中で、それでも年の初めに阿弥陀さまの前で新年を迎えたことを共に喜びたいとお参りくださったご門徒のみなさんに、「お念仏の家族」を感じずにはいられませんでした。

### 二つの記念日

さて、一月十七日は今か

ら二十八年前に「阪神淡路大震災」が起きた日です。今年も、早朝から多くの方が涙ながらに亡き方たちを偲んでおられた、二十八年経っても忘れることのできない日です。そしてこの日は、私にとってはもう一つの忘れられない大切な日でもあります。今から三十年前のこの日、坊守と私は純正寺の本堂で結婚式を挙げ、生涯を共にお念仏に生きていこうと阿弥陀さまの前で誓いました。

あれから三十年、坊守と共に純正寺での有意義な仏教活動と、我が子たちの健全やかな成長のために尽力してきました。思うようにはいかないことも多かった月日ではありましたが、それもまた楽しい日々でもありました。そして、子ども達

もいよいよ全員独り立ちすることになりましたので、結婚三十年にして初めて二人だけで出かけようということになったのです。わずか二日間の旅でしたが。

## 命がけのご相続

訪問先は鹿児島県。大阪空港から鹿児島空港まで一時間余りのフライト。そこからは、レンタカーで出発です。鹿児島を訪問先に選んだのは、二つの目的があったからでした。一つ目は「かくれ念仏」です。室町時代から明治時代の初めにかけて、薩摩の国では三百年以上にわたり浄土真宗に対して過酷な弾圧がなされました。理由は「阿弥陀如来の前には、全ての生きとし生けるいのちは等し

く尊い」という浄土真宗の教えが、当時の封建体制にそぐわなかったからです。

その結果、多くの真宗門徒が虐げられ、命を失いました。しかし、このような過酷な状況の中にあっても、ご門徒たちはお念仏を捨てず、隠れてご法座（集会）を開いては仏法を聴聞しお念仏を申されたのです。正に、命がけのお念仏のご相続でした。その、隠れてお念仏された場所が「かくれ念仏洞（ガマ）」と呼ばれる洞穴です。山の中にある自然の洞窟もあれば、人により掘られた洞穴もあります。そのいくつかのガマを訪ねてきました。いずれのガマも、人目を避けた所にあつて、立って歩くことができないくらいの高さの穴で、もちろん真つ暗です。昼間

でも入ることを躊躇してしまふような所に、雨の降る夜中に集まってお念仏を申されたそうです。当時のことを想像しながら、何の気兼ねもなくお念仏できる時代に生きながら、お念仏の大切さを知ろうともしない私たちの現状を反省するばかりでした。

## 非戦平和の誓い

二つ目の目的は、知覧にある「特攻平和会館」でした。ここには、太平洋戦争末期の沖繩戦において、特攻という人類史上類のない作戦で、爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の若者たちの、遺品や関係資料が展示されています。

その遺品の中に、親兄弟

や恋人に宛てられた遺書がたくさんありました。どの遺書にも、別れと感謝の言葉が綴られており、読むにつれ心が痛みます。もし、この手紙を息子が私たちに宛てて書いたならと思うと、仏教徒として二度と若者たちをこのような目に合わせはならないと心に強く誓わずにはおられませんでした。

折角の二人旅なのに、何とお堅いことかとお思いでしょうが、そのところはどうかご心配なく。桜島にも行ってきましたし、指宿で「砂むし温泉」にも入ってきましたし、美味しいものも沢山いただきましたし、九州新幹線にも乗ってきましたから。

とても有意義で、とても楽しい、忘れられない坊主との二人旅となりました。





# 純正寺 2月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ

一、五四〇、五四七個

まだまだ寒さが続く一月も、たくさんの人達から九三三一個のエコキャップをお預かりしました。ありがとうございました。

## キッズサンガ「ほとけの子ども会」

4日(土)・18日(土)  
15:00~17:00  
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しいおやつタイムです。

## みんなの食堂ビハーラ

9日(木)・23日(木)  
17:00~19:00  
年齢・性別は問いません

コロナ感染症の第8波の中にはありますが、感染対策しながら楽しくみんなで食事しましょう。

## ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

11日(土)・26日(日)  
15:00~17:00  
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

## 世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

12日(日)  
18:00~20:00  
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

## ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

14日(火)・28日(火)  
10:20~11:30  
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

## 釈尊ご入滅の日に「涅槃会」

15日(水)  
10:00~15:30  
年齢・性別は問いません

釈尊が命終をもって完全な涅槃に至られた記念日。住職法話は「ブッダ最後の旅」です。

## 「月例法話座談会」

21日(火)  
14:00~16:00  
年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

## こんき常例布教

25日(土)  
10:00~12:00.13:30~15:30  
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。ご法話は、長浜市常德寺の井上了師です。

## 清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45  
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINELIVEで生配信もします。

4月10日(月) 9:00~18:00  
親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要  
彦根組団体参拝にあなたも参加しませんか？

寺報先月号と共にご案内いたしました、上記法要の申し込みは一旦締め切れ、純正寺の参拝申し込み者数も上限に達したのですが、彦根組全体の参加者数にまだ空きがありますことから、二次募集を始めることになりました。参拝をご希望の方は、今すぐ住職まで。

## 住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません  
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。  
相談予約専用電話番号は  
090-7874-2849  
相談予約専用メールアドレスは  
namo-yorozu@docomo.ne.jp